

会報

かけはし

(題字 支部長 神山則幸)

令和 4 年 2 月 1 日
第 59 号
発行者
神山則幸

平均寿命と健康寿命の狭間で

副支部長 森山 征夫



昭和の後半に「七、五、三」と言われ、教員の退職後の寿命が校長三年、教頭五年、教諭七年を喻えるの言葉がありました。その頃の平均寿命が七十才半ばかりと思えます。現在の平均寿命は、八十才半ばです。私の年以上に寿命が先へ伸びています。

平均寿命とは、生まれた人が、後何年生きるかを表していて、私たちの余命とは違います。私たちの残されている寿命を表すのが、「平均余命」で、これが介護を受ける期間に重なります。もう一つに健康寿命があります。男性七十三才弱、女性七十五才。健康寿命とは、元気に自立して過ごせる期間だそうです。

私は、今、残りの人生がどれほどあるかを思いやり、何をやるか、何ができるかを思案しています。

現在、フルで仕事をしていて、趣味にまわせるのは、日曜日と雨の日だけです。教育(今日行くところ)と教養(今日やること)に欠かない日々を過ごしています。この忙しい波にいつまで乗っついていけるのかと多少心配になりつつある日々です。

私は、子どもの皆さんを絶対に嫌いになりません

草加班 寺島 高志



私は、子ども皆さんを絶対に嫌いになりません。大好きになるので、良い事をすれば褒めるし、悪い事をすれば叱るのでよろしくね。

七十才はじめ頃から、篆刻の勉強の一環で、篆書に取り組み始め、ついでに隷書、行書、楷書にも手を出し始めました。書の変遷を辿っているようで楽しみです。筆をとっていると、五十年代半ばで早世した親友のN君が書の道で精進していたのが思い出され、こう書いてるとき彼ならどうアドバイスしてくれるのかと想像してしまうことが度々有ります。

近年、近しかった方々が亡くなられ、もう少し話したかったと残念に思うことが多くなりました。コロナ禍のなかであり、この思いも果たせぬ希望であったかと。この原稿を書いている時に、初孫の誕生の報を受け、余命への思いが変わったようです。

他市に異動することになって、春期休業中にありとあらゆる方法でその学校の実態を調べたところ、子ども、家庭、地域、学校の信頼が希薄であることが一番、たまたまわかった。そこで考えに考え抜いた上で教頭として赴任したときの始業式前の自己紹介である。

この自己紹介が、親や教師、友達から嫌われていると思ひこみ、弱い者いじめを繰り返していた子どもの心に響いた。時間がかかったが、信頼関係を築くことができた。以来、私はこの言葉を校長として年度初めの挨拶や式辞、学校だよりを通して伝え続けてきた。

先日、スクールソーシャルワーカーとして関わっている子どもの母親から嬉しい報告があった。私が登校しぶりの子どもにも絶対にあなたのことを嫌いにしないのでよろしくね。と伝えたことが、両親の心の支えになつていて、と。母親が娘に「どんなことがあつても嫌いにならないよ」と伝えたら涙ぐみながら「学校行けないのに、本当に嫌いにならない？」と言ってくれたこと。私の助言のおかげです、ありがとうございます。とのことであつた。

今、学校に行けない子どもが増えている。その子どもたちの多くが自己価値観が低いだけでなく、学校で個性や社会性を育む事ができない状況になつている。そうした子どもたちとどのように関わっていくのか。今、一番の課題である。

会員短 信

第三の人生

草加班 内田 高司

退職後、五年間を初任者指導及び初任者後補充で第二の人生を歩み、その後第三の人生を歩んでいる。それは、農作業に従事する事である。九十歳を過ぎた義父の手伝いをする事である。

慣れない仕事や農機具の扱い方など日々悪戦苦闘していると言っても過言ではない。

そんな毎日であるが、米や野菜を種から育てることと児童生徒を育てることに共通点があるようだ。それは、「適時に適切な手を加え、最後まで、見届けること」

ある講座に参加して

朝霞班 大竹 仁

退職して十年。図書ボランティアの活動に関わって八年になる。

二年前、読書推進活動の実践に役立てばと、ある財団主催の「読書アドバイザー養成講座」を受講した。定員百名、応募者が多いという。回数は全八回。神田の会場には全国から様々な職種、幅広い世代の人が来ていた。実演やグル

ープ討議などみんな意欲的だ。周りの熱意に圧倒されたが、刺激のある学びの体験となった。

コロナ禍でボランティア活動は休止していたが、漸く再開された。

チャレンジ

川口班 小池 和生

再任用教員として初任者指導にあたって五年。今迄の経験を生かしながら、後進の育成に少しでも関わることができたことに、幸せと感謝を感じている。この間、学習指導要領の改訂やGIGAスクール構想の実現など様々な変化があり、私自身も学びの連続だった。

また、今年は教員免許の更新で、四十年振りに大学の授業も受けたし、L11相手に苦手な英会話にチャレンジすることもできた。再任用は今年で満了だが、これから様々な学びを続けていきたい。

「ソロ活」始めます

蕨・戸田班 加藤 芳江

冬枯れの樹間に落つる陽の速さに、人生の晩節を急かされているような切なさを感じる日々を送っています。コロナ禍で、仲間との会は総て休止。毎日眺め暮らす窓外の緑地は熱帯雨林化し、その管理も大きなストレスです。独りで

できる生産的な時間を取り戻そうと思いつき、予てよりの我が家の課題に取り組みことにしました。

「屋敷内の生態系」「祖母と高祖母の実家(武将 太田道灌の孫が始祖)が当地に逼塞した歴史的経緯」等の調査で、私ソロ活始めます。

今、「熱くなる」もの

川口班 浦谷 信一

学校経営を卒し、初任者と授業づくりに勤しんでいる。これが、中々楽しい。かつては、辛く苦しく感じた作業が懐かしく思い出される。当時、不勉強で小手先で授業に向っていた事を教え子たちに申し訳なく恥じ入るばかりである。

抜群の吸収力で腕を上げていく初任者を羨み、教室で子どももの輝く笑顔の輪に包まれている若き日の自分の姿を妄想しながら、『学を修めるに卒業なし』と再確認する次第。今、自分が『熱くなる』ものは、これだと得心している。

優まされる宝

朝霞班 土屋 賢治

退職後しばらくして男ばかり三人の孫に恵まれ今ではその相手を楽しみとする爺になつていいる。我が子を「優れる宝」と憶良は詠じているが、孫も負けず劣らず愛お

戸田市SEEPプロジェクトの推進を中心とした教育改革

戸田市教育委員会教育長



戸ヶ崎 勤

本市では、VUCAの時代の主役である子供たちに「AIでは代替できない力」と「AIを使いこなす力」を身に付けてほしいと考え、産官学との積極的に連携した教育改革に取り組んでいます。その中でも重点的に推進している「戸田市SEEPプロジェクト」について簡単に紹介します。※SEEPとは、Subject, EdTech, EBPM, PBLのアクロニムで、いわゆる「薫習」の意味もあります。

【Subject: 教科教育の充実】

エビデンスに基づき優れた教師の指導を可視化した「戸田市版アクトイブ・ラーニング指導用ルーブリック」を作成し、各教科等の授業の本質を捉えた授業改善を目指しています。ルーブリックは全校の校内研究等で活用しています。

【EdTech: ICTのマスターアイテム化】

本市では2016年から授業におけるICT活用の指標であるSAMRモデルに基づき、学習者用端末と

しいものである。それは、仕草や表情などが身内の誰かに似ていると思える瞬間があるからか。いや、それより、子育てにゆとりの心を持つて接することが出来るからかもしれない。現役時代にも、学校の子供たちにこんな気持ちで触れることができていたなら……などと考えてしまう今日この頃である。

コロナ禍の学校

川口班 鈴木 彰典

縁があり、現在、再任用校長四年目を川口市立安行中学校で過ごしております。退職前には全く予想していなかったことが次々に起こり、日々、生徒や職員の健康状態を把握し、様々なことに対応する毎日が続いています。幸いにも本校の職員は、校長の考えを素直に受け止めて、素早く行動に移してくれますので、大変助かっています。今後は、第六波に備えて、全生徒に配布されましたタブレット端末を利用した学習活動の充実を図って参りたいと思います。

第二の人生

草加班 七澤 和男

退職後五年間、市教育委員会では嘱託員として働き、学校訪問、要請訪問等、小中学校の子供たちや

先生方と関わらせて頂きました。特に算数の指導法を中心に、先生方と一緒に研究に携われたことは楽しい思い出になっています。

現在は、まったく教育関係とは離れて、可愛い二人の孫の相手役や友人達との旅行・ゴルフをして充実した毎日を送っています。コロナ禍の中、この第二の人生を続ける為にも「健康が一番」大切に感じています。

近況報告

川口班 高橋 利昌

退職後三年目を迎えた今、平日は初任者指導員として、三校六名の初々しい先生方と「俺もこんな感じだったなあ」と初任の頃を懐かしく思い出し、教科指導や学級経営について、一緒に考えています。休日はソフトテニスのサークル活動、その後はサウナで心身のメンテナンス、地域の公民館主催「男の料理教室」で腕磨き、現役時代から続いている寄席通いに芝居見物など趣味と実益を兼ねた日々を送っています。教員以外の仲間が増え、世界が広がりました。

自立・自律

蕨・戸田班 小久保 正雄

昨年、再任用が任期満了し、四

十三年間の教職生活が終わり、自宅での生活が多くなり、夫婦関係を維持するためにも自立・自律を心がけています。

自立・食器洗い、買い物、風呂掃除、洗濯。先日、生まれて初めて自分で下着を購入しました。

自律・起床、食事、運動、仕事、韓ドラ、晩酌、就寝。毎日、判で押したような生活を送っています。

今後も基本的な生活習慣を堅持し、健康で長生きして、夫としての職責を果たそうと考えています。

新たなチャレンジ

川口班 春山 正実

退職して三年目。一年目は初任者指導。これまでの教職経験を活かすことができ、充実した一年間でした。二年目から教育団体の事務局職員として勤務させていただいております。各都道府県の事務局や行政との情報共有、研修、教育情報誌の発行と新たな事にチャレンジさせていたいております。一番の苦労は税金関係の処理。消費税・法人税・社会保険等の書類作成には頭を抱えております。お世話になった事務の先生方のご苦労が身に染みて分かりました。

高速ネットワークの整備を進めてきました。教師主導の「指導と管理」の教具的活用から、学習者主体の「学びと愛用」による文具的活用を目指した「C」を活用した学びの変革とともに、教育DXにも取り組んでいます。

【EBPM：客観的な根拠への船出】

全国や県の学力・学習状況調査と、国立情報学研究所のリーディングスキルテストの結果などの関係を独自に分析したり、非認知能力の調査研究を行ったりするなど、「教室や授業を科学する」ために、多くの研究者を含む産官学と連携した研究を進めています。質的エビデンスも重視し、EBPMからEIPP (Evidence Informed Policy and Practice) を「コンセプトに、2019年には「教育政策シンクタンク」を教育委員会内に設置しました。

【PBL：探求的な学びの推進】

社会課題を具体的に解決する学びのあるPBL (Project Based Learning) を推進しています。2016年からはプレゼンテーション大会を開催し、成果発表とともに学びのアウトプットの質的向上を図っています。さらに、STEAM教育の基盤づくりにも取り組んでいます。

支部だより

臨時役員会開催

コロナウイルス感染症の拡大状況は秋を迎えても、好転せず、令和三年度現職・退職校長北足立南部支部教育推進協議会の開催も困難な状況となった。

そこで、このことについて、令和三年九月十日(金)並木公民館に於いて理事会に代えて支部長・各班副支部長による臨時役員会が開催された。

その席で、これ迄、推進協議会実施にむけて準備してきたが、

- ①退職校長会の諸行事を中止している
 - ②現職校長に負担をかける
 - ③教育事務所に迷惑をかける
- 以上の意見が出され、令和三年度現職・退職校長北足立南部支部教育推進協議会は紙上発表とするこ
ととした。

教育推進協議会

紙上発表で開催

令和三年度現職・退職校長北足立南部支部教育推進協議会は、参加予定者に発表資料を送付し、意見・感想等を募る紙上発表として開催された。

以下に発表者と標題を再掲する。

- ①【学校保健教育を核とした学校経営】
川口市立朝日東小学校
熊谷 茂樹 校長

②【多様な生徒に多様な学びの場づくり】
GIGAスクール構想を生かして
川口市立芝中学校
佐久間 章匡 校長

③【蕨市教育センターの現状と課題】
退職校長会蔵・戸田班
五十嵐 詩郎 元校長

発表資料は県退職校長会ホームページ南部支部の覧に掲載されているので閲覧されたい。また、県退職校長会会報令和四年一月号に要約文が掲載されているのでご一読いただきたい。

令和四年度県退職校長会総会 実施委員会委嘱状交付会開催

令和四年六月三日(金)

川口市総合文化センターにおいて開催予定の令和四年度埼玉県退職校長会総会の実施委員委嘱状交付会が十一月十八日(木)川口市立並木公民館に於いて開催され、令和四年度埼玉県退職校長会総会に向けて準備が開始された。



(和田 悦男)



退職校長会総会に向けて準備が開始された。

ご冥福をお祈りいたします

- 鈴木 泉様 (川口) 5/30 九十六歳
- 栗原喜一郎様 (川口) 9/25 九十二歳
- 毒島 福夫様 (川口) 10/30 八十九歳
- 中村 昌義様 (川口) 12/1 六十九歳

12/20現在

班だより

朝霞班

本年度の総会も、コロナウイルス感染症拡大防止のために中止し、紙上開催となった。新会員五名を迎え、小川廣徳新会長のもと、会員百十二名でスタートした。

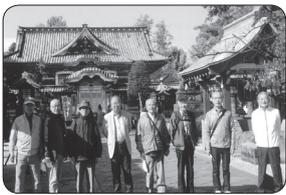
会員の親睦と連絡を図ることを目的に、活動を企画している。コロナ禍により、行事等に大きな影響を受けているが、感染防止に留意しながら交流を深めている。

◎会報発行

会員が自由に寄稿できる文集として、班四市の頭文字を組み合わせた『SWAN』第十七号を十一月に刊行した。表紙の切り絵は、創刊号から、元会長、池田要様(故人)の作品を使わせていただいている。

◎健康ハイキング

小春日和の十一月十七日、国の重要文化財に指定されている「上野東照宮」「清水観音堂」を中心に上野公園内の主要な史跡、文化財を巡



り、「不忍池」「アメ横商店街」などもコースに入れて見学した。その後、おいしい蕎麦を食べながら近況を報告し合った。

◎その他

【BBQを楽しむ会】

予定していた十月八日時点で、制限、禁止等の措置が解除されなかつたため中止。

【新年親睦懇親会】

コロナの終息、新年が良い年でありますようになどの願いを込めて、令和四年一月二十一日に予定している。

(柿崎 勲)

あとがき

北足立南部支部会報「かけはし」第五十九号をお届けします。ご多用の中、玉稿を賜りました各位に衷心から御礼申し上げます。オミクロン株の出現で、コロナ禍の終息が遠のいてしまいました。いつまで続くのかため息ばかりで、新年の運命鑑定には、例年にも増して関心が高まります。生まれ年の十二支や「一白水星...」などの本命星は、二月の立春から翌年節分までの一年間で、節分までに生まれた方は、前年のものとなるそうです。(羽富 正晃)